

# 第78回日本ハンドボール選手権 女子の部

## 大会要項

---

- 1 大会名** 令和8年度第78回日本ハンドボール選手権大会 女子の部
- 2 主催** (公財)日本ハンドボール協会
- 3 主管** (公財)日本ハンドボール協会、東京都ハンドボール協会
- 4 特別後援** 読売新聞社
- 5 後援** 未定
- 6 協賛** 大和ハウス工業(株)、三機工業(株)、味の素(株)、(株)エスエスケイ(ヒュンメル)、(株)モルテン
- 7 開催期日** 令和8年12月15日(火) ~ 12月20日(日)
- 8 開催場所**  
駒沢オリンピック公園総合運動場 体育館(全日程)  
駒沢オリンピック公園総合運動場 屋内球技場(1日目・2日目)
- 9 競技日程**

第1日	12月15日(火)	1回戦	8試合
第2日	12月16日(水)	2回戦	8試合
第3日	12月17日(木)	3回戦	4試合
休息日	12月18日(金)	試合無し	
第4日	12月19日(土)	準決勝	2試合
第5日	12月20日(日)	決勝戦	1試合

### 10 代表者会議・開始式

行わない。ただし、注意事項等に関しては、事前にチームに文書にて通知する。

### 11 参加資格

**(1) 出場チーム**

令和8年度（公財）日本ハンドボール協会（以下、日本協会とする）に登録したチームであること。登録区分を高校生、高専、学連、一般A、一般Lとする。

リーグH、日本協会の推薦チームの決定は日本協会が行なうものとする。

各都道府県代表チームの選出は、前年度登録数から比例割りとする。

出場枠は次の通りとする。

リーグHチーム	11
日本協会推薦（学連）	2
ジャパンオープン推薦	1
各都道府県代表	10
<b>合計</b>	<b>24</b>

※都道府県枠（ブロック枠）は次の通りとする。

9ブロック（北海道・東北・関東・北信越・東海・近畿・中国・四国・九州）各1枠  
登録数上位ブロックに1枠追加（計10枠）

※登録数上位ブロックは、令和8年6月30日現在の登録状況により決定する。

**(2) 個人**

令和8年度日本協会に登録した個人であること。

各チームの選手、チーム役員の参加資格について、日本協会の登録規定による。

(3) 外国籍選手の試合エントリーは、登録人数は制限を設けないが、オンコートはコートプレーヤー2名、ゴールキーパー1名の合計最大3名までとする。

**1.2 参加料**

1チーム 100,000円（但し、学生チームは日本協会が25,000円を負担し、75,000円とする。）

**1.3 チーム編成**

(1) 大会エントリー（参加申し込み）は、1チーム役員6名、選手22名とする。

- (2) 試合エントリー（各試合にエントリーするメンバー）は、1チーム役員5名（内1名を責任者）以内、選手16名以内とする。
- (3) 本大会に参加するチーム役員及び選手は、他のチーム役員或は選手として重複してはならない。
- (4) 申し込み後のチームの編成の変更は、大会前々日12月13日（日）の17：00までに日本協会より指定したGoogleフォームへ記入し日本協会が確認許可し認められる。なお、選手変更に関する証明書の提出は求めない。
- (5) チーム役員が選手を兼ねる場合は、選手としても登録していなければならない。その場合、役員の補充（7人目のチーム役員という意味）はできない。
- (6) 背番号は申し込み時の背番号と同一の番号を使用しなければならない。
- (7) 競技中の交代地域には大会エントリーした役員及び選手であって、さらに当該試合に試合エントリーしたチーム役員及び選手以外立ち入ることはできない。チーム役員に登録されていない選手は、試合エントリーされていない場合、チーム役員として交代地域に入ることは出来ない。
- (8) トレーナー資格を有し、トレーナー業務を専任する場合、事前に氏名を特定できない者に対し、1名を限度として交代地域外に席を設け業務を行うことを許可する。ただし、いかなる場合もコート内、交代地域に立ち入ることを禁止する。

#### 14 競技規則

- (1) 令和8年度日本協会競技規則による。
- (2) 松ヤニ、松ヤニスプレーの使用を認める。
- (3) 準々決勝よりビデオ判定システムを採用する予定である。

#### 15 競技方法

- (1) リーグHの上位8チームをシードとする。
- (2) トーナメント形式で行い、3位決定戦は行わない。
- (3) 試合終了時に同点の場合は第2延長まで行い、第2延長でも同点の場合は各チーム5名による7mスローコンテストで勝敗を決する。

## 16 ユニフォーム

- (1) 競技規則に示されているとおりのユニフォームを用意すること。背番号が見にくいデザイン、色の使用は避けること。
- (2) 対戦チームと色の異なるユニフォームを用意すること。事前に調整することが望ましいが、万一、トスのときに審判員が識別しにくい色であると判断したときには、組み合わせ表の番号の大きいチームがユニフォームの変更をする。
- (3) 各チームは試合毎にCP、GKそれぞれ2着以上用意すること。
- (4) 同試合に用いるGKのユニフォームはすべて同色でなければならない。
- (5) 各試合、CP、GKそれぞれユニフォームの色は4色とならなければならない。

## 17 表彰

- (1) 第1位から第3位のチームに、日本協会が表彰状を授与する。
- (2) 優勝、準優勝のチームの選手・役員28名に、日本協会がメダルを授与する。
- (3) 優勝チームに日本協会賞（優勝旗他）を授与する。
- (4) 優勝チームに読売新聞社賞を授与する。
- (5) 最優秀選手を1名選考し、日本協会からMVP賞を授与する。
- (6) 優勝チームの監督に、日本協会から最優秀監督賞を授与する。

## 18 審判員、テクニカルオフィシャル

審判員は日本協会が指名した公認審判員（国際・A級）があたる。また、テクニカルオフィシャルは日本協会公認の有資格者があたる。

## 19 使用球

日本協会検定球とする。（モルテン社 A5000）

## 20 IDカードの発行

- (1) チーム、チーム役員、選手にIDカードを発行する。
- (2) IDカードの交付は事前にチームに送付するかまたは試合当日に会場にて発行する。

- (3) IDカードは大会エントリーにプラスしてチーム人数に応じた枚数のIDカードを発行する。このIDカードは大会に登録はされていないが、チームとして日本協会には登録されている選手と役員のみが使用できる。

## 2.1 罰則

- (1) 参加申し込み後の棄権は日本協会懲罰規程に基づき罰せられる。
- (2) 参加資格、チーム編成に疑義が生じた場合、大会裁定委員会もしくは日本協会懲罰委員会の裁定を受ける。
- (3) 試合で報告書を伴う失格を判定された場合、大会裁定委員会もしくは日本協会懲罰委員会の裁定を受ける。
- (4) 競技会場の内外を問わず、競技規則で規定されない行為が発生した場合、大会裁定委員会もしくは日本協会懲罰委員会の裁定を受ける。

## 2.2 申し込み

- (1) 10月1日（木）までに、マイハンドボールにて案内掲載をする。  
日本協会のWeb登録システム（マイハンドボール）により参加申込を行うこと。  
（※金額を入力する項目は0円のままとする。）プログラム用チーム集合写真の提出方法は、別途、各チームに連絡する。申込期限は、令和8年11月18日（水）23：59までにWeb申込完了とする。
- (2) 参加料の払い込みは同上期限までに、下記銀行口座に振り込むこと。  
三菱UFJ銀行 渋谷中央支店 普通 0202719 （公財）日本ハンドボール協会

## 2.3 組み合わせ抽選会（予定）

- (1) 令和8年11月19日（木）、日本協会競技本部の責任の下で行う。  
但しリーグH シード8チームの組合せについては、競技日程発表に合わせて公表する。

## 2.4 予選について

- (1) 各ブロックはブロック予選で使用した要項を日本協会へ提出すること。
- (2) 各ブロックは抽選会までに予選を終了していること。予選の結果は日本協会へ連絡すること。
- (3) 申し込み期日以降のブロック予選開催の特例は認めない。

## 25 その他

- (1) 競技中に負った傷害については応急処置、救急車の手配はするが、その後は各チームの責任において行う。各種保険は各チームで加入すること。
- (2) 報道関係の取材には極力応じること。
- (3) 本大会は国内トーナメント型チャンピオンを決定する最高権威の大会であることの意義を理解してすべてに模範的行動をとること。
- (4) 会場内ビデオ撮影は出場チームに1台許可し、許可証を発行する。撮影の際は、許可証を携帯すること。販売を目的とした営業用ビデオ撮影は日本協会との契約により許可する。電源はバッテリーのみ使用できる。但し、営業用ビデオ撮影の際は別途定める。
- (5) フロアでの写真撮影は届出のあった報道関係者及び関係者に限り場所を定め認める。許可証を貸与するので表示すること。販売を目的とした営業用写真撮影は日本協会との契約により許可する。
- (6) 営業を目的とした各種グッズの販売は、日本協会との契約により許可する。
- (7) 感染症対策については、参加・応援など規制は設けないが、体調不良となった場合には、会場内に立ち入らず、すぐに診察を受けること。
- (8) 本大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
- (9) 本大会参加者は、大会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。
- (10) 未成年者（18歳未満）については、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続に対する親権者からの同意書を大会に持参すること。

- (11) 本大会参加者は、本大会で行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- (12) 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト（<http://www.playtruejapan.org>）にて確認すること。
- (13) チーム役員、選手の会場および周辺での喫煙を禁止する。
- (14) 出場チームへのチケット販売については別途連絡する。

## 26 関係連絡先

公益財団法人日本ハンドボール協会

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 6階

TEL: 03 (6709) 8940 FAX: 03 (6709) 8941

E-mail: taikai@japan-handball.jp